

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	富士大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フジダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	キャリア形成論2
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	馬上 達幸 教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	129
	受入企業等数	30
	受入企業等名	地元企業・地方公共団体・経済団体等
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	様々な業種の事業所において、各々の業務に係る就業体験を行う。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		2年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		キャリア形成論ⅡA・Bにおいては5日間(授業期間中)、キャリア形成論ⅡC(夏期休業期間中)においては10日間の就業体験を課し、実践力と就業力を育て学生のキャリア形成に資する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全7回の事前学習において、インターンシップの趣旨・目的に係る学び、就業体験の希望調査、就業体験の目標の設定、産業人講話、ビジネスマナー研修、リスクマネジメント研究等を実施する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ報告会」を開催し、自他の就業体験と自らのキャリア形成とを関連づけながら考察させる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	学生のインターンシップレポートや事後の自己評価、事業所担当者の実習所見、さらには企業アンケートを実施し、教育的効果の検証と改善に努めている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ日誌」の活用により、学生と事業所とが双方向で就業体験の内容を毎日確認し合う。これらを抛り所に学生が勤労観・職業観を育み自らのキャリアデザインを描けるよう促している。この「インターンシップ日誌」を基に授業担当者が学生の到達度を評価する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間または10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間15日間または20日間(うちインターンシップ実施期間5日間または10日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	市役所・消防署・商工会議所等を含め県内30事業所に協力を仰ぎ、大学と事業が覚書を取り交わしたうえでインターンシップを実施している。1週間(5日間)の就業体験を基本とするが、目的意識の明確な学生を対象に2週間(10日間)の就業体験も行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	毎年、実施要項作成の段階から事業所側の意見も吸い上げ、大学と事業所とが協働した取組として実施している。広域展開する事業所では本社人事部等が窓口となって就業体験が可能な営業所や実習内容等を調整するなど、覚書の趣旨に則り大学と事業所が協調してインターンシップを構築している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.fuji-u.ac.jp/iassistant
問い合わせ先	大学等名	富士大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	副センター長
	担当者氏名	目時 一哉
	電話番号	0198-23-7933
	メールアドレス	syusyoku@fuji-u.ac.jp